

|     |                          |                        |       |       |       |       |         |         |
|-----|--------------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|
| 自治会 | 自治会名                     | 馬場町自治会                 |       |       |       |       |         |         |
|     | 自治会<br>拠点住所              | 上田市中心3丁目-14-3          |       |       |       |       |         |         |
|     | URL                      | なし                     |       |       |       |       |         |         |
|     | 拠点施設名<br>※公民館、<br>自治会館など | 馬場町自治会館（馬場町コミュニティ集会施設） |       |       |       |       |         |         |
|     | 世帯数<br>該当世帯数に○印          | 50未満                   | 100以下 | 250以下 | 500以下 | 750以下 | 1,000以下 | 1,000以上 |
|     |                          |                        |       | ○     |       |       |         |         |

自治会の紹介  
位置や沿革、  
成り立ち、  
昔話など

## 《位置》

上田駅から北北東へ約750メートルの所、上田市中心部に位置する。区域は東西約200メートル、南北約320メートル。周辺にはスーパーマーケット、コンビニエンスストアや商店街、繁華街があり、生活には非常に便利な町である。

## 《沿革・制定》

「**馬場町**」。全国には「ばばちょう」「ばばのちょう」「ばばんちょう」「ばんばちょう」など様々な呼び名があるが、上田市の馬場町は「ばばんちょう」と呼ぶ。その歴史は戦国時代に遡る。武将真田昌幸公が上田城を起工した天正11年（1583年）、当時馬場町の地は藩士の馬の訓練をする馬場だったという。やがて徳川幕府の時代になり、元和8年（1622年）、城主真田信之公が松代へ転封され、小諸藩主だった仙石忠政氏が入城すると、それまでの馬場をやり鑓町西方（房山付近）に移し、その跡に町造りをして「馬場町」が出来た。仙石氏の時代は、多くの藩士の住宅となり、立派な武家屋敷の町として栄えていった。

## 《医家の町 馬場町》

宝永3年（1706年）に上田藩主が松平ただちか忠周氏に代わると、馬場町には医家を多く集めて医者の町にした。いわゆる「藩医」である。松平氏は、他の町に開業した医家でも事ある毎に馬場町へ移転を命じたという。かくして馬場町には十軒以上の藩医が大きな屋敷を構えていた。明治、大正、昭和の時代には更に二十数軒の医家が開業し、今もその流れを汲んでいる。

## 《町並み》

馬場町の表通りは、昔は中央に川が流れ、東西二通りに分かれていた。いかにも馬場に使ったと思われるようなゆっくりとした広さを持った町であった。川の中にあやめを咲かせ、両側に柳、梅などを植え、四季折々の風情を楽しんだという。明治33年（1900年）、この川を西側に移し、初めて広い一筋の馬場町の通りが出来た。馬場町と仲町間の橋及び大黒橋はこの時に架けられたようである。

古くから町には様々な店が軒を連ね、隆盛を極めていた。料亭・小料理店、八百屋、魚屋、豆腐屋、酒店、菓子・和菓子店、印刷屋、時計修理屋、こうもり傘店、洋服店、帽子店、下駄屋、染物屋、洗濯屋、建具屋、板金屋、電気店、写真屋、タバコ店、化粧品店、理容・美容店、検番・置屋、映画館などなど。時には小粋な芸妓さんの歩く姿が町を彩っていた。しかし、戦後の発展と共に、長屋などが取り壊され、のちに道路となった。長屋は一瞬にして潰れたという。更に都市計画もあって商店が次第に減り、今では小料理屋・居酒屋、酒店、和菓子店、洋服店、クリーニング店、理容・美容店、薬局などが残っているが、だいぶ少なくなってしまった。

町の西側には公園（児童公園）があり、春に大きな桜の木が見事に満開の花を咲かせ、毎年、住民の目を楽しませている。

平成10年（1998年）、市内で初めての13階建て高層マンションが馬場町に竣工された。マンションの建築は更に進み、現在3棟の高層マンションを含む4棟のマンションが存在している。馬場町の世帯数は中央地区自治会の中で一番多い。また、社会福祉法人による介護施設なども建設され、高齢者に優しい町となっている。

### 《夏の風物詩・夜市》

大正の中期頃、馬場町に夜市（夜店）を始めることが住民より提案され、一、六、四、九の日に行われるようになった。やがてこれが露天商の手に移り、「一六」が馬場町、「二七」、「三八」、「四九」「五十」の日が他町という形に発展し、住民を喜ばせた。当時、馬場町の通りでは、近郷の農家で生産された物を売りさばいたり、町の露天商による種々の日用雑貨の販売、更に夏には水瓜の切り売り、秋にとうもろこしを焼いて売ったり、金魚すくいあり、町の青年会が煎餅を売るなど、なかなか賑やかであった。青年会が夜店毎に戸板一枚いくらという賦課を行い監理し、終店後の掃除を引き受けていた。最盛期には200を超える店が町の南端から並んでいたようである。その後、時代の流れと共に夜市は縮小し、いつの日か出店が無くなり、夏の風物詩が消えていった。

### 《町の神輿》

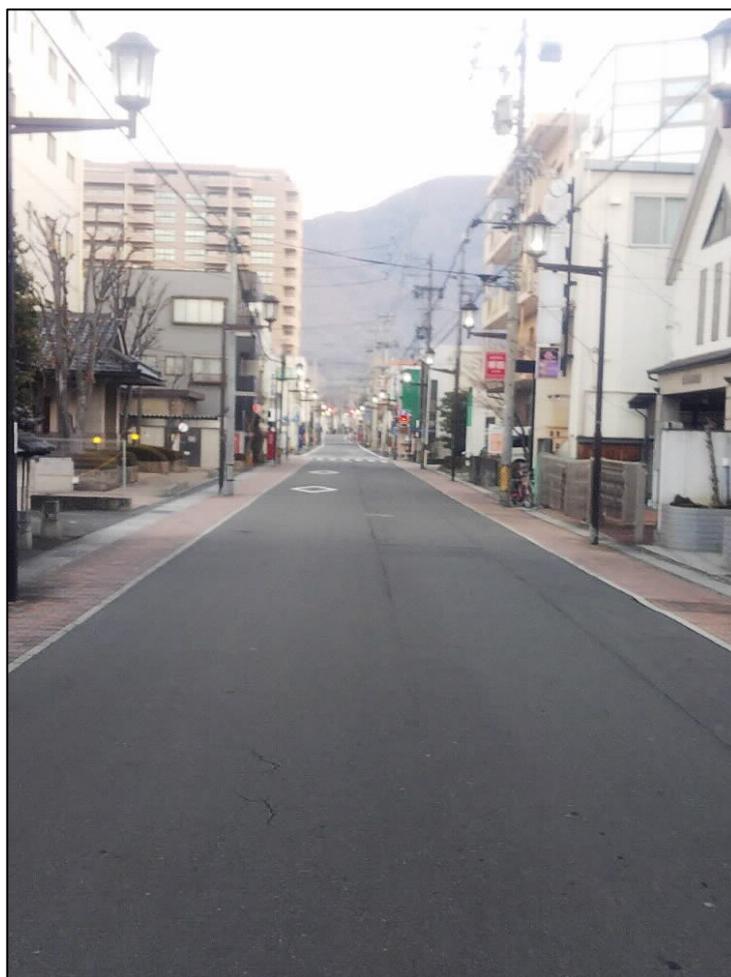
祇園祭には馬場町は昔から、大人の樽神輿と子供の宮神輿を出し、盛大に行われていた。子供神輿は昭和6年（1931年）に青年会の資金で造られ、その後新調された。大人神輿は、平成14年（2002年）、町を挙げて立派な風格のある宮神輿を造り、樽神輿に代わって町の財産とな

っている。

### 《自治会の成り立ち》

明治23年（1890年）、上田町（現上田市）を34区とした区長制により、馬場町も区長以下三役（区長、副区長、会計）が選出され、自治組織がスタートした。その後、昭和21年（1946年）に区長を自治会長と改め、協議員を選出、現在の馬場町自治会運営の原形となった。

馬場町のメイン通り

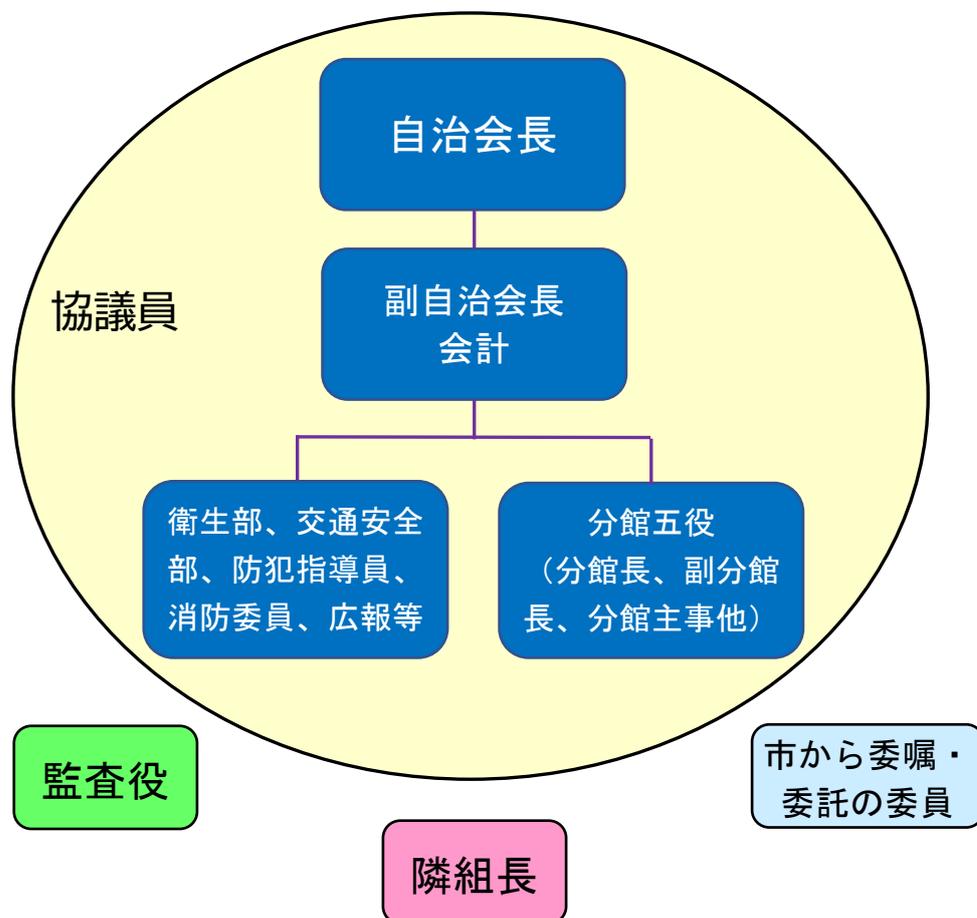


**令和4年（2022年）、馬場町は制定400年**

を迎える。

## 自治会の組織図

組 織  
個人名を含まない  
組織図など



## ●執行部

協議員 15名以内及び監査役 2名から成る。協議員の中から自治会長、副自治会長、会計を 1名ずつ選出。現在の協議員は 11名で、この内 4名が女性。仕事と家庭を両立している。マンション在住の協議員もあり、幅広く自治会運営に参加して、地域内の交流を率先している。協議員の平均年齢は 58.2 歳（令和 3 年 12 月現在）と比較的若い。全員が勤めながらの活動である。監査役は自治会長 OB が担当する。

## ●役員選出

協議員選考委員会にて協議員を選考し、定期総会で承認。隣組長は区域内で輪番制。

## ●役員任期

協議員及び監査役は 2 年。隣組長は 1 年。ただし再任を妨げない。

## ●執行部の役割

自治会三役の他、衛生部、交通安全部、防犯指導員、消防委員、広報な

|                  |  |
|------------------|--|
|                  | <p>ど、及び中央公民館の分館五役に分かれ、協議員が複数担当する。</p> <p>●町内活動の構成</p> <p>13の隣組、マンション4棟及び市営団地の住民による。世帯数は270あまり。</p>   |
| 主な行事             | <p>どんど焼き（1月）、定期総会（1月）、餅つき大会（2月）、お汁粉会（2月）、お花見会（4月）、マレットゴルフ大会（春秋各1回）、祇園祭（7月）、地域安全パトロール（9月）、敬老祝賀会（9月）、歳末夜警（12月）等。</p> <p>白寿会（町の老人会）による童謡唱歌の会（毎月）。</p>   |
| 第一次避難場所          | <p>施設名 馬場町自治会館（馬場町コミュニティ集会施設）</p> <p>住 所 上田市中央3-14-3</p> <p>その他自治会で指定された施設の施設名、住所</p>  |
| 防犯・防災            | <p>・管轄消防分団：第三分団</p> <p>・自治会長を隊長とした自主防災組織あり。活動は以下の班に分かれる。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[本部（隊長：自治会長）] --- B[情報班]     A --- C[消火班]     A --- D[避難・誘導班]     A --- E[救出・救護班]     A --- F[給食・給水班] </pre> </div> |
| 安 全<br>安協のとりくみなど | <p>年1回及び必要に応じて、防犯指導員3名による町内パトロールを実施し、不審者がいないか、不審な物が置かれていないか、危険箇所がないか、等のチェックと対策を実施している。</p>   |
| 環 境<br>資源回収情報など  | <p>・資源回収：毎月第三水曜日に自治会館にて実施。</p> <p>・環境美化活動：馬場町児童公園の清掃、ごみゼロ運動</p>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>その他<br/>分館・育成会・消防・敬老会・AED設置場所など</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・分館五役（分館長、副分館長、分館主事、人権同和教育推進委員、青少年育成推進指導委員）</li><li>・市から委嘱又は委任された委員による活動</li><li>・高齢者の交流（白寿会）、及び高齢者有志による会館内の清掃活動等</li><li>・商店会：馬場町商工振興会活動</li><li>・PTA：小学校、中学校PTA支部による活動、子ども会育成会など</li></ul> |
|--|--|